

がんのリハビリテーション

—がん看護の新たな潮流—

日時／ 平成27年10月11日(日)

13:30～16:40(開場13:00)

場所／ 名桜大学多目的ホール

入場
無料

現在、がんは医療の進歩や早期発見・早期治療により、「不治の病」から「がんと共存」する時代となりました。

このような中、がんを体験した方々のQOL(生活の質)の向上が求められております。

がんの手術療法、化学療法、放射線治療などの治療の過程で受けた身体や心のダメージに対して、リハビリテーションを行うことでがん体験者の回復力やQOLを高め、家庭や社会への復帰、療養生活の質の向上させることが可能になってきております。

今回のシンポジウムでは、がん看護の中でも注目されてきている「がんのリハビリテーション」をテーマに、がんのリハビリテーションの専門医やがん看護の専門家をお招きしました。

多くの医療者および市民の皆様がシンポジウムにご参加いただき、がんのリハビリテーションにおける看護の役割機能を広く伝える機会になれば幸いです。

基調講演

「がんリハビリテーション最前線 周手術期から緩和ケア主体の時期まで」
辻 哲也(慶応義塾大学医学部腫瘍センターリハビリテーション部門 部門長)

シンポジウム

- ・神里 みどり(沖縄県立看護大学・教授)
「がん患者のだるさは身体活動で緩和できる！」
- ・吉澤 龍太(那覇市立病院・がん専門看護師)
「様々な症状へのリハビリテーションアプローチ」
- ・小橋川 初美(社会医療法人友愛会 南部病院・緩和ケア認定看護師・緩和ケア病棟師長)
「最期まで支えるQOL～緩和ケア病棟のチームアプローチ～」

コメンテーター

- ・辻 哲也(慶応義塾大学医学部腫瘍センターリハビリテーション部門 部門長)

座長:金城利雄(人間健康学部 学部長) 玉井なおみ(人間健康学部看護学科 准教授)

主催／名桜大学総合研究所看護科学部門

シンポジウムプログラム

第1部: 基調講演

13:25-13:30	開会のあいさつ 金城 利雄 (名桜大学人間健康学部 学部長)
13:30-14:30	がんリハビリテーション最前線 周手術期から緩和ケア主体の時期まで 辻 哲也 (慶応義塾大学医学部腫瘍センターリハビリテーション部門 部門長)
14:30-14:40	休憩(10分)

第2部: シンポジウム

14:40-15:10	がん患者のだるさは身体活動で緩和できる！ 神里 みどり (沖縄県立看護大学大学院 教授)
15:10-15:40	様々な症状へのリハビリテーションアプローチ 吉澤 龍太 (那覇市立病院 がん専門看護師)
15:40-16:10	最期まで支えるQOL～緩和ケア病棟のチームアプローチ～ 小橋川 初美 (社会医療法人友愛会 南部病院 緩和ケア病棟師長 緩和ケア認定看護師)
16:10-16:15	休憩(5分)
16:15-16:35	討論会
16:35-16:40	閉会のあいさつ 砂川 昌範 (名桜大学人間健康学部看護学科 教授)

会場へのアクセスマップ

